

せせらぎ

338



表紙の写真の中にある山名は何とゆうでしょう、

又標高は4500mに少し届きませんが、北側の国の山名が有名です

2017年9月



滋賀県勤労者山岳連盟 湖南岳友会

目 次

表紙&メッセージ	
私のひとりごと	
9月例会山行案内【六甲山】	
" 【剣岳】	
10月 " 【麿村八丁】	
7月例会山行報告【針の木岳から種池山荘】	
8月 " 【比叡山】	
個人山行報告【槍穂縦走】	
7月山行記録	

今月の予定

9月3日(日)	定例山行【六甲山】
9月16(土)~18日(祭)	定例山行【剣岳】
9月30日(土)	定例会議



表紙からのメッセージ

アルプス山脈とはヨーロッパ中央部を東西に横切る「山脈」である。フランス・イタリア・ドイツ・スイス・オーストリア各国に跨っている。

2013年の7月に9名の友人達で、ヨーロッパアルプス地方を、イタリア側より展望してみようと旅行をしました。

皆さんご承知のモンブラン（イタリア名モンテビアンコ・マッターホルン（イタリア名モンテチェルビーノ）等のように頂上で国境を分けているのです、北側と同じように麓には街があります。フランスのモンブラン山群にある登山口としてシャモニーに対してクールマイユール・スイスのツエルマットに対してチェルビニアという街がそうです。いずれの街もロープウェイ・ゴンドラ等で4000mから3500m近くまで上がり展望を楽しみ、ハイキングも楽しめ、勿論登山コースも開かれています。

私のひとりごと

20周年で岳友の皆さんがキナバル山行談を話しておられる昔に入会してはや数十年、近江八幡市の好日山荘でのチラシ広告で岳友会を知った訳です。名前だけの泡沫会員で今日まで末席をけがしてきました。

つまりは会に何もサポート致さず只趣味の会そのもので過ごして来ました。会員各位には諸事情もあり、入会目的、趣味の会への参画意欲の濃淡差、体力的な事など、、、退会され幾人ガが通り過ぎていられました。

汗を流し、雄大な稜線を歩く、又地図読みしながら里山ハイク何れも好きだ岳友会の40周年を迎え会の今を考えると
会のダイナミズムどうすれば取り戻せるか、
処方箋は、、、侃侃諤諤後に期待しましょう。



9月例会

六甲山 トエンティクロス～長峰山

涼を求めて六甲トエンティクロス

トエンティクロスは、新神戸駅の近くを流れる生田川の上流域の「地藏谷」分岐を超えたあたりから続く清流沿いの道のことをいいます。川沿いの山道を水と風を感じながら歩きませんか。まるで上高地を連想させてくれます。

トエンティクロスから続くシェール道は、明治時代に神戸にやってきたドイツ人のシェール氏が愛した道として名づけられた道で、穂高湖近くのシェール槍の頂上からは大パノラマ、これぞ六甲！！が堪能できます。



実施日：2017年9月3日（日）

集合：JR三ノ宮駅 改札口出たところ 8時30分

日程、コース： JR三ノ宮駅 → 新神戸駅 → 市ヶ原 トエンティクロス 桜
谷分岐 → シェール道 → シェール槍 杣谷峠 長峰山 JR六甲道駅

行動時間：約7時間

持ち物：一般登山用具、雨具、帽子、行動食、非常食、飲み物（十分に）

申し込み締め切り日：2017年8月26日（土）までに

雨天中止は9月2日（土）18時までにメール配信します。

9月定例山行案内

劔岳 (2 9 9 9 m)

「試練とあこがれ」の石碑でおなじみの馬場島、早月尾根から劔岳を目指します。日本を代表する登山コースであり、今回は上級者コースということで、岩山訓練（三上山岩訓練を含む）アルプス登山経験者の皆さんの参加をお待ちしております。（コース途中で高度感を感じる場所も有りますので 高所恐怖症の方はご遠慮ください）

申込締め切り

8月31日（木）

日時

9月16日（土曜日）～18日（月） 集合場所 野洲駅 10:00 竜王 7&11 10:30 集合

日程

16日（土） 馬場島 16:30 テント泊（会のテントを利用 人数 ?人）

17日（日） 馬場島 8:30 発 早月小屋 14:00

18日（月） 早月小屋 4:00 発 劔岳 7:30 早月小屋 10:30

馬場島 14:30 竜王 19:00 野洲駅 19:30

17日は早月小屋宿泊を考えております。テント泊を希望される方は各自テント泊装備を持参してください。

京都北山・品谷山/廃村八丁

1. 実施日： 2017年10月1日(日) 雨天中止

2. ルート見どころ説明：

京都北山は魅力的なハイキングコースが多くあるが、交通の便が悪くマイカでないと出向きにくいのが難点です。今回、例会として取り上げましたので是非参加ください。

京都北山の一画を占める品谷山(881m)の山頂からは木の葉越しに展望できる程度ですが品谷峠にかけては美しいブナ林の下りとなりスモモ谷を経て八丁に着く。この村は昭和8年の豪雪により村人は離村を余儀なくされ、昭和11年に廃村となったという。爾来、「廃村八丁」と呼ばれ京都北山の代表的なハイキングコースとして親しまれてきた。数年前までは京都山岳愛好家達により廃村を利用してドラム缶風呂付の宿泊設備も維持されていたが、今はその跡だけが残り往時を偲ばせるだけとなった。

帰りは刑部谷から四郎五郎谷(峠)を経てダンノ峠に戻る周回コースを歩きます。

3. 集合場所・時間： JR野洲駅 6:30 or 琵琶湖大橋・米ノサ 7:00

4. 山行コース：

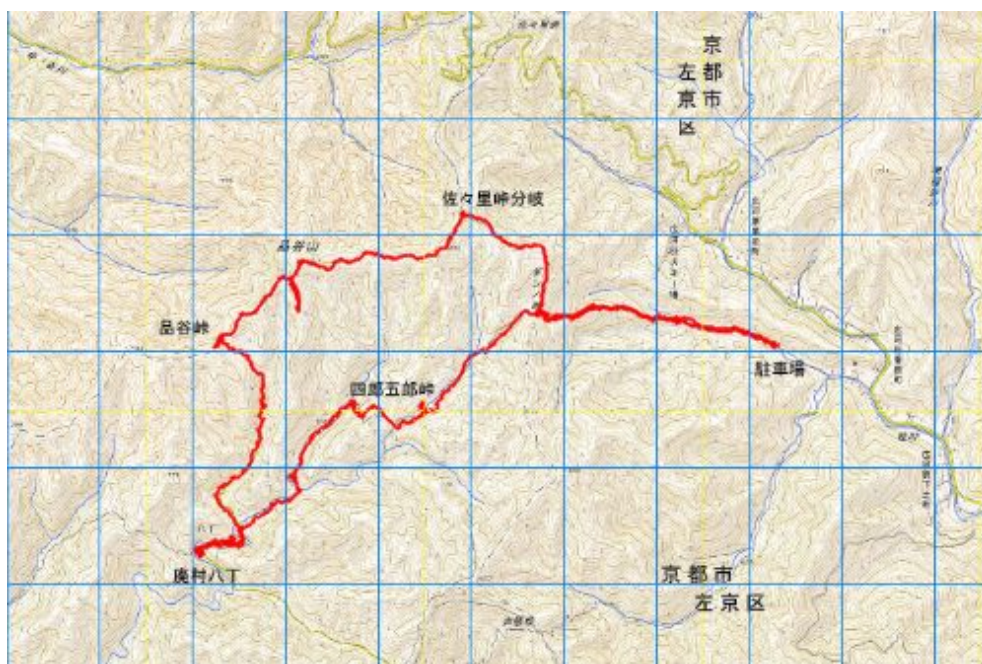
米ノサ 7:00 梅ノ木 8:15 菅原 8:30 9:30 ダンノ峠 9:40 佐々里峠分岐 10:40
品谷山 10:50 品谷峠 12:20 廃村八丁 13:00 14:10 四郎五郎峠 14:20 14:50 ダンノ
峠 15:00 15:30 菅原 15:45 梅ノ木 17:15 米ノサ

歩行時間 5時間10分

5. 持物：

一般登山用具 雨具 軽登山靴(履きなれた運動靴でも可) etc

6. 申込締切： 9月24日(日)までにメールで



7月例会 後立山 針ノ木岳 (2821m) ~ 種池山荘 (爺が岳は中止)

日時 2017年 7月14日~7月17日

参加者 山小屋泊 7名
テント泊 2名

日程・コース

7月14日 昼組 野洲駅 11:15 梓川 IC からまつ荘泊
夜組 野洲駅 19:40 扇沢 0:50 (車中泊4名 仮眠)

7月15日

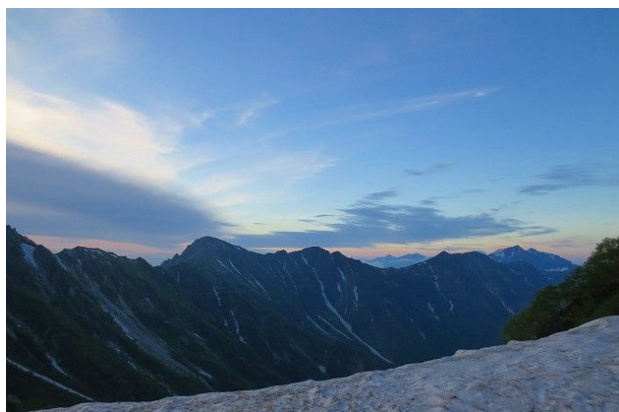
扇沢登山口 (1433m) 8:30 大沢小屋 9:50 雪渓 10:30 アイゼン装着 10:40
昼食 12:00 アイゼン外す (夏道へ) 12:45 針ノ木峠 (2536m) 針の木小屋着 13:35



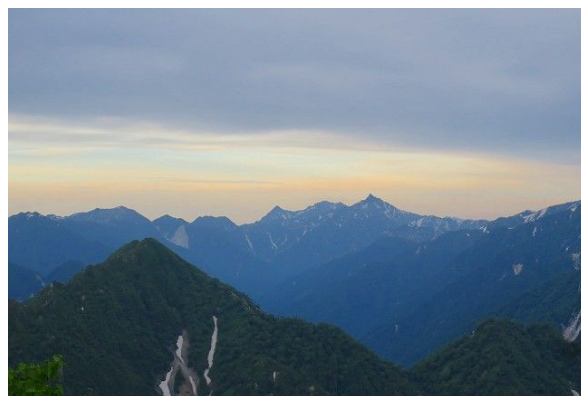
いよいよ雪渓! 今年は雪が多いそうだ。
1時間ほど登る。(アイゼンは6本)



針ノ木峠まで雪渓は続いているが、急傾斜。
アイゼンを外し、夏道に行く



明日の山行予定・スベリ岳・赤沢岳・鳴沢岳・方面。
(針ノ木小屋より)



雲がかかったりもしたけれど、きれいな時間もあった。富士山も見えた。

7月16日

針の木小屋 6:30 針ノ木岳 (2821m) 7:30 スベリ岳 (2752m) 8:26 (小雨・雨具装着)
赤沢岳 (2678m) 10:40 鳴沢岳 (2641m) 新越山荘 12:35 - 昼食 12:55 (風・雨強くなる)
岩小屋沢岳 (2614m) 種池山荘 (2450m) 15:30

針の木小屋では「一畳に二人寝てください」と言われ・・・3連休でした...でも元気に出発。

一口感想

何年かぶりにひどい夏風邪をひいてしまったのですが回復傾向だったこと、また、はじめてのアルプスに行きたくて参加させていただきました。

山行初日、扇沢駐車場を出発してしばらくは、晴天のかなり蒸し暑い中での登りとなり体力を奪われてしまいましたが、雪渓に入ると上方より気持ちの良い冷たい風が吹いてきて萎えかけた心に力を与えてくれました。雪渓を登りきると本日宿泊の針ノ木小屋。前夜からの車での移動と、体調が今一步だったことも手伝って、小屋に着いたときにはぐったり。蓮華岳へ行く元気もなく、初めての山小屋での食事喉を通らなかったのですが、山小屋から初めて見る雄大なアルプスの山々、通り過ぎる雲の流れに元気をもらうことができました。

二日目は針ノ木岳から種池小屋まで縦走。縦走し始めてしばらくは雄大な景色や眼下の黒部湖も楽しめたのですが、そのうち強風と雨に…。ところどころ慎重に歩かないといけない箇所もあり、何とか小屋にたどり着いた時には一日目と同様ぐったり。この日も私は食事が喉を通らなかったのですが、お隣の席では女性陣がビールを飲みながら豪快(?)に食事をされていて何とも頼もしいかぎりでした。

三日目は朝から雨。残念ながら爺ヶ岳には行かず下山して温泉となりましたが、3日間の汗を流すことができリフレッシュできました。

今回は体調と天気にはあまり恵まれませんでした。初めてのアルプス、山小屋、雪渓を経験することができ大変満足できた山行でした。あと1月後には槍ヶ岳。楽しみです。

梅雨末期で数日前も九州北部の朝倉市や日田市で土砂災害が起こり生命・財産に甚大な被害が起こりました。久しぶりの縦走山行も参加を逡巡いたしましたが、CLの出来うれば蓮華でもピストンしたい天候を期待したいねの決断。

運動らしい事は殆どしておらず軟弱なままの参加でした。翌朝扇沢駐車場からの針ノ木小屋までのコースです。今期は降雪量が多く殆どが雪渓状態で曇り空の中針ノ木小屋着く。曇天ながらも展望は開け槍・鷲羽等360度のパノラマ世界が展開する。小屋は十分な対応も出来にくい位の超混雑と聞くも我々の周りは侵入者も居ずスペース確保の労は無いこれは次の種池山荘でも同じでした。

明けて次の日は針ノ木小屋から種池小屋まで稜線の左端から遠く右端までの縦走山行。針ノ木岳までは曇りも、ここからスバリ岳～赤沢岳～鳴沢岳までは体が持って行かれそうな位の強風と雨、時折眼下に黒四ダムが顔を出す。新越乗越山荘で昼食、後の岩小屋沢岳も強風と慎重な歩で9時間掛かりで種池着。CLの配慮で翌日の爺はガスがかかり取り止めとなりました。

連休最終日も早目の帰宅となり高速の混雑は回避できました。迷惑をかけず完歩出来た事参加の皆に感謝申し上げます。CI・S L ご苦労さんでした。



チングルマ



アオノツガザ



ミヤマシオガマ



ミヤマオダマキ

8月例会山行報告

比叡山 三石岳 (675.6m) 八王子山 (381m)

)

日 時 8月5日(土)

参加者 12名

コースタイム

京阪坂本駅 8:20 登山口 8:40 林道出会(延暦寺境内) 10:45

元三大師堂(パワースポット) 11:00 横川中堂(昼食) 11:20~11:50

三石岳頂上 12:30 八王子山頂上 13:45 三宮・牛尾宮 14:00

京阪坂本駅 14:40

天 気 曇り

真夏の時期カンカン照りの中、舗装道の登山口までの歩きを心配していたが、当日は曇りラッキー。登り始めると風がなく林道出会い(延暦寺境内)までの登りは蒸し暑さに苦しめられた。延暦寺境内を観光客に交じって散策をした。三石岳下山で道迷いがあったが、経験者のアドバイスで無事日吉神社まで下山できた。



蒸し暑さに耐えながら黙々と登る



横川中道(昼食)

一口感想

比叡山のこのコースは初めてでしたが、蒸し暑い季節のわりに、杉の木立の登山道は涼しげで、パワースポット等もあり、楽しめました。

特にリーダーさんが用意してくださった、具だくさんの冷たいそうめん、最高に美味しかったです。

また、八王子山の社殿からみたびわ湖、とてもきれいでした。

今度は、ぜひ紅葉の季節に訪れたいです。

8月の暑い日でしたが、楽しい山行となりました。

比叡山はいろいろなルートがあるようですが、奈良坂から元三大師堂、横川中堂を經由して、三石岳、八王子山をピークハントし、日吉神社へ戻るルートは初めてでしたが、メンバーと一緒にだったので、無事に下山することができました。元三大師のパワースポットでパワーをもらい、千日回峰の行者が歩く道と同じ道を歩き、ショッキングピンクや真っ白なさるすべりの花に迎えられて幸せな1日となりました。

サプライズでS Lからいただいた冷たいそーめんは、最高でした。

1年ぶりの山行でした。

前日から、わくわくしていました。

夜寝ていても、変に興奮して余り熟睡できません。

案の定、尾根の手前で熱中症の症状がでて一時は下山の判断をしました。

しかし、30分ほど休んで体調も回復してきたので、皆さんの後を追いかけることにしました。

尾根道は、風が通り気持ちよく歩けましたが、2回道を間違え1時間ほどのロスをしました。

やっと三石岳の登り口に到着、左側の巻道に行くことにしました。

しかし途中で行き止まりになり、水も底をついたので残念ですが下山の判断をしました。

全ルートを歩けなかったけど、暑い日の一年ぶりの山行で長時間歩けたのはマズハ合格です。



三宮・牛尾宮で、リタイアされたと思っていたSさんと偶然出会い皆びっくり。全員で記念写真

【山行日】2017年7月27日(木)～7月30日(日)

【参加者】5名

【コースタイム】

7/27(木) くもりのち一時雨

野洲駅 6:05 = (JR が事故で不通のため、急遽、JR 組は南草津に集合、車は南草津にも回ってもらう) = 南草津駅 6:35 = 市営新穂高第3駐車場(深山荘前・無料) 11:00 ~ 登山口 11:30 ~ 新穂高小屋 12:30 ~ 白出沢出合 13:25 ~ 滝谷避難小屋 14:50 ~ 槍平小屋 15:55

7/28(金) くもり一時雨

起床 3:30、槍平小屋発 4:35 ~ 千丈乗越 6:25 ~ 槍ヶ岳山荘 8:30 ~ 槍ヶ岳 9:15 ~ 槍ヶ岳山荘 10:05 ~ 大喰岳 10:40 ~ 中岳 11:35 ~ 南岳 13:25 ~ 南岳小屋 13:45

7/29(土) くもりのち一時小雨

起床 3:30、南岳小屋発 4:40 ~ 長谷川ピーク 6:40 ~ A 沢のコル 6:50 ~ 北穂高小屋 8:15 ~ 北穂高岳 8:35 ~ 最低コル 9:55 ~ 涸沢岳 10:50 ~ 穂高岳山荘・小屋のカレーで昼食(11:20 ~ 12:15) ~ 涸沢小屋 14:00

7/30(日) くもり一時雨

起床 3:30、涸沢小屋発 5:00 ~ 本谷橋 6:30 ~ 横尾山荘 7:40 ~ 徳沢 8:45 ~ 明神 9:45 ~ 上高地バスターミナル 11:30 = (タクシー) = 新穂高駐車場 12:20 = 栃尾温泉 荒神の湯 12:30頃 = 野洲駅 18:30

【コースの状況など】

- 滝谷は橋が設置されていて、少し狭い感じはあったが、普通は問題ない広さ。増水時は通過困難で以前に死亡事故があった。カメラが設置されており、槍平小屋のホームページでリアルタイムの様子が分かる。ただし、急激に増水することもあるので注意が必要。
- 天候が良くなかったため、また、時間的な関係か、槍ヶ岳にはほとんど私達だけしか登っていなかった。混雑するときには2時間も待たされることがあるらしい。
- 槍ヶ岳から南岳へのコースは思ったよりアップダウンあった。
- キレットは要所要所に鎖や、足場のない岩にはボルト等も設置されており、慎重に通過すれば、見た目ほど難しくはないと思われる。下る時には足場が分からなくて、見つけるのが難しい所もある。むしろ、あまり難しくないとこで、気が緩んだり、慎重さが薄れて足を滑らせたり、バランスを崩したりするのが危険。次第に高度感がマヒしてくるが、このコースではどこでもちょっとしたミスが重大事故になる。
- キレット通過後の北穂～涸沢岳も難路であり、同じくらいの注意が必要。人によっては、キレットよりもこちらの方が緊張したとの感想あり。
- キレットから涸沢岳までは肩にまわす簡易ハーネスを事前に装着した。何か所か鎖場で使用したが、安心できる。
- 北穂小屋から北穂岳の途中に残雪が多かったが、階段状に整備されていて、アイゼン等がなくても安全に通過できた。涸沢から降りる直後も何か所か残雪があったが、よほど慣れていない限り大丈夫である。ただし、雪渓の端、岩の露出している周りは凍結していることが多いので、注意が必要。
- 今回のコースは全体に花が多く、特に今年は雪融けが遅かったために、見頃であった。
- 梅雨明けはしていたが、南海上に台風があり、はっきりしない天候であった。大きくは崩れないが、良い天気は余り期待できず、判断が難しかった。キレット越えの日、南岳での日の出前は濃い霧だったので、キレット通過をあきらめ、撤退も考えたが、しばらくすると晴れ間も出てきたので、出発を

決めた。また、奥穂から前穂、岳沢経由で上高地に降りる予定だったが、雨で足場が濡れている可能性が高かったので、予定を変更し、比較的安全なザイテンクラート、涸沢経由とした。

- 南岳から撤退する場合、槍平に直接降りる南岳新道があるが、登山口、南岳小屋の情報では、今年は残雪が多いためにアイゼン、ピッケルが必要ということだった。特に夏山初期には残雪等のコースの状況を事前に確認することが必要。
- 新穂高の登山口に岐阜県の事務所があり、登山届を提出した。岐阜県では条例で登山届の提出が義務付けられている。下山届の様式もあり、ここに提出することになっている。今回は同じところに帰ってきたので、ここに下山届も提出した。下山が別の場所の場合について聞いたところ、岐阜県内であれば、下山届を呼びかけているが、下山が他の県であれば、下山届は呼びかけてないだろうということ。また、登山届と下山届を照合しているか聞いたところ、遭難発生等のケースがなければ、通常は照合されないということであった。
- 槍平と南岳の小屋はちょうど5人で十分な量の個室で、快適だった。涸沢小屋は予約してなかったためか、大部屋だった。水は南岳は1L100円、その他は無料。南岳は天水（雨水）で北村はそのまま飲んだが、異常はなかった。自炊場はすべてあった。槍平小屋では70歳以上はそこで使える500円のクーポン券のサービスあり、南岳、涸沢小屋では登山会員証で500円の割引あり。
- 槍ヶ岳の頂上から降りようとしていた時、後からの登ってきた単独の人に写真を頼まれた。頼んでから服を脱いだり、ザックから大きなカメラを取り出したり、こちらも降りようとしているのに、撮影までかなり時間がかかった。写真を頼むときには注意しましょう。
- ドコモの携帯の状況：槍ヶ岳周辺では大丈夫、南岳は小屋の2階ではよく通じたが、下では不安定。穂高岳山荘では全体に不安定、飛騨側が開けているところでは通じた。天候の関係もあるかも。
- 当初は上高地からバスを乗り継いで新穂高まで戻る予定だったが、タクシーでも5人乗りならほぼ同じ金額で行けた。時間的には1時間程度短縮できた。
- 帰りに利用した「栃尾温泉 荒神の湯」は地元の共同浴場で、入浴料は寸志として200円程度、露天風呂で、石鹸、シャンプーはない。

【装備】

共同装備：ガスヘッド（2）、ガス（2）、コックフェル（2） 以上朝食用

補助ロープ（7mm、10m、使用せず） ツェルト、救急箱

個人装備：通常装備の他、ヘルメット、シュリング（長1、短1）、カラビナ2（シュリング、カラビナは簡易ハーネス用）

【ガス使用量】 朝食とお茶を沸かす程度なので、全部で中ボンベ1個以下で足りた。

【食料（朝食）】

お湯を沸かすだけでできるものを各自で用意した。

例えば、パン、スープ、ラーメン、モンベルのリゾッタ（3分でできる。味はまずまず。） サトウのごはん＋卵スープのおじや など。

【費用】

交通費：ガソリン代 = 306km × 往復 × @30 = 18,360円

高速代 = 行き 5,240 + 帰り 3,430（ETC割引） = 8,670円

小屋代（1泊夕食付）：【（槍平）8,100 + （南岳）8,000 + （涸沢）8,000】 × 5名 = 120,500円

（注目！）南岳と涸沢は登山会員証で一人500円の割引あり。但し、各人の会員証の提示が必要。

水（共同分）：南岳300円（3L）、他の小屋は無料 南岳は500MLのペットボトル1本支給。

ガス：200円

タクシー：上高地～新穂高 11,000円（5人乗り）

以上、合計 159,030円 / 5人 = 約 31,800円 / 人



南岳の下り。長い梯子もある。



キレットの細い馬の背を通過。滑ったり、バランスをくずすと大変。



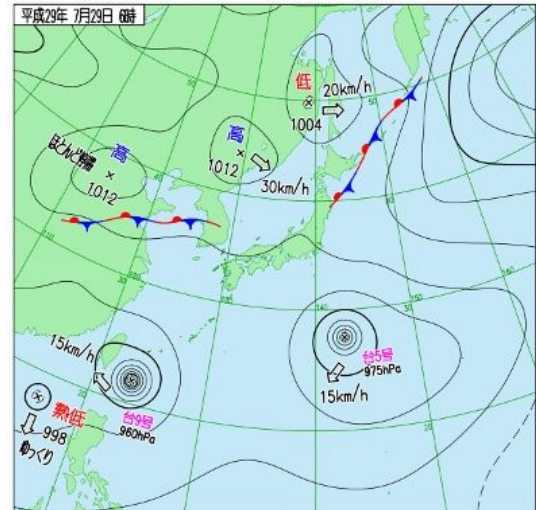
キレットへの下り。後ろ向きで足場を見つけるのが難しい。



登りは慎重にやれば、意外と難しくない。



北穂から先のトラバース。高度感がマヒしがちだが、滑落すると大変。



キレットを通過している頃の天気図。微妙。三陸沖から東日本付近に気圧の谷がのびていて(中部地方に等圧線のへこみがある)湿った空気の影響を受けやすいとの予報。

2017年7月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		ブログ掲載
			会員	会員外	
6/27 ~ 7/12	ノルウェー・フィヨルド旅行		4		
7/1	鈴鹿山脈 霊仙山		1		
7/2	湖北 山本山～賤ヶ岳	例会	11	2	
7/5	大平山・千頭岳・音羽山		7		
7/8 ~ 7/9	甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳		2	ツアー	
7/8	金毘羅山(岩登り練習)		5		
7/8 ~ 7/9	中央アルプス 越百山		3		
7/8	湖南アルプス		3		
7/9	鈴鹿山脈 御池岳		1		
7/14 ~ 7/16	塩見岳(長野県・静岡県)		1	1	
7/15 ~ 7/17	後立山 針ノ木岳～爺ヶ岳	例会	9		
7/15 ~ 7/16	八ヶ岳 (阿弥陀岳南稜)		1	1	
7/16	大峰山系 八経ヶ岳		4	1	
7/15	台高山脈 桧塚奥峰		1		
7/16	湖南・大戸川 吉祥寺谷(沢登り)		2		
7/16 ~ 7/17	焼岳		1		
7/22	御嶽山系 摩利支天山		1		
7/21	比良山系 釣瓶岳、武奈ヶ岳		2		
7/22	伊吹山		2		
7/23	堂満岳(滋賀県)		1	1	
7/22	鈴鹿山系 ・ 御池岳		1	1	
7/27 ~ 7/30	北アルプス 槍ヶ岳～穂高岳縦走		5		
7/29 ~ 7/30	白馬岳		1	10	
7/29 ~ 7/30	白山 (小屋伯)		1	4	
7/28 ~ 7/31	燕岳・大天井岳・常念岳・蝶ヶ岳(長野県)		1	ツアー	

コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。